



何曜日に魚を買いますか？



【研究課題名】
資源変動下での漁業管理方策に関する経済的検討
【実施年度】平成18～22年度

経営経済研究センター 漁村振興グループ
三谷卓美

目的

標記課題の一環として小売り量販店などでの消費者の鮮魚の購入状況を把握し、漁業管理施策の検討に役立っています。

方法

家計の収支を把握し政策立案の基礎資料とする目的で長年実施されている家計調査（総務省）では、2000年からは従来の集計値（年、月単位）に加えて品目毎の日別の消費支出が公表されるようになっていきます。

勤労者家庭において、品目（魚種）毎に、何曜日に支出（価格×量）が多いかを調べました。11年間の毎日の魚種別支出から季節（月旬）、その日が祝日かどうか、歳末の3日間かどうか、およびその日の天候（気温、湿度、雨量、風速、積雪量の偏差）などの影響を除いて、曜日の効果を抽出しました。

結果

週末（土、日曜日）に購入される魚種（まぐろ、さしみ盛合わせ、ぶり、えび、かに、たい、たこ、かつお、いか）と火曜日を中心とする主に週日に購入される魚種（あじ、いわし、かれい、さば、さけ、さんま）に大きくは分けられました。前者は祝日にも購入され、また、かつおを除き歳末にまとめて購入されます。価格はいかを除いて100g当たり150円以上です。後者では祝日や歳末に購入される魚種はさけのみであり、価格は150円を下回ります。

ここでは消費者の短期的な週内の購入行動を検討しました。長期的に分析した既往知見では前者は主には上級財（所得の増加により需要が増す）に、後者は下級財に分別されま

すが、消費者の長期的な購入の変化については、量販店などの週内の販売戦略との関係を分析する必要があると考えられました（図）。

波及効果

鮮魚の流通は量販店に主導され、その意向に沿った形態に変わってきました。鮮魚の購入動向の現状や変化を認識しつつ、適切な需要からみた漁業管理施策の検討に役立っています。あなたの家庭では、何曜日に魚を買いますか？

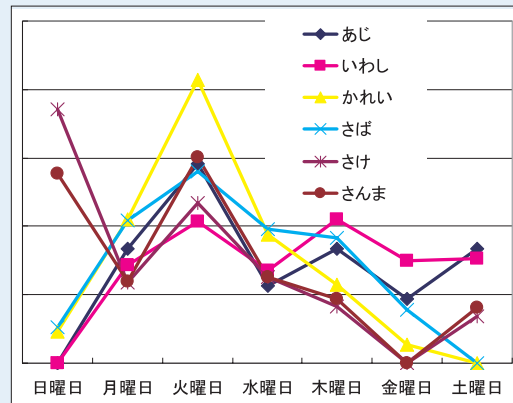
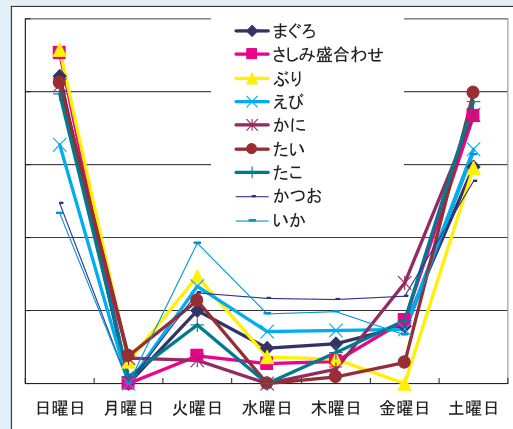


図 勤労者家庭における魚種別消費支出の曜日効果の傾向
上：週末（土、日曜日）に購入される魚種
下：火曜日を中心とする週日に購入される魚種
（曜日効果の傾向を示すもので支出額と比例しない。文中の説明も同様。）

